



備えるフェスタ2024
inとまこまい

報告書

みんなで
楽しく防災について
考えよう!



備えるフェスタ 2024 in とまこまい 終了御礼

この度の『備えるフェスタ 2024 in とまこまい』に際し、開催当日は悪天候だったにもかかわらず、苫小牧市内外から多くの来場者にお越しいただくことができました。

『楽しみながら防災意識を醸成する』という前回から、『より具体的な備える準備』をテーマとした2回目の開催となりましたが、多彩なプログラムや体験型ブースを通じて、地域の防災意識の向上と住民同士の絆を深める機会を提供できたことを嬉しく思っております。

また、災害時にラジオが重要な情報源となることを考慮し、来場者へ無料配布を実施しました。これにより、地域住民が災害時に必要な情報を迅速に入手できるよう支援し、防災意識の向上を図ることができました。加えて、防災メールや市公式 LINE の登録者数が大幅に増加したことは、皆様の防災意識の高まりを示す成果として大変励みになりました。

関係機関の皆様、そして多くのボランティアスタッフや協賛企業・団体の皆様のご協力により、事故などもなく無事に開催できましたことに対し、心より感謝申し上げます。

今後も、地域一体となった防災活動を推進して参りますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年2月吉日

一般社団法人苫小牧タウンマネジメント
代表理事 藤 淳一

実施要項

名称	備えるフェスタ 2024 in とまこまい
主催	苫小牧市・一般社団法人 苫小牧タウンマネジメント
後援	北海道開発局・北海道胆振総合振興局
協力	一般社団法人苫小牧建設協会・北海道コカ・コーラボトリング株式会社 陸上自衛隊第73戦車連隊・陸上自衛隊第7施設大隊・セコム株式会社苫小牧支社
開催日時	令和6年11月4日(月・振替休日) 9:30～15:30
天候・気温・風速	天候：雨 気温：最低 5.4℃ 最高 14.2℃ 風速：最大 9.7m/s、平均 8.0m/s
会場	苫小牧市総合体育館 苫小牧市末広町3丁目2番16号
駐車場	来場者駐車場：中央公園 約620台 関係者・障害者駐車場：総合体育館 約150台
来場者数	4,000人
目的	① 自然災害に対して“自身で事前に備える”ことの重要性を伝える。 ② 自助・共助・公助の関係性を知ってもらう。 ③ つながり、補う関係づくりの重要性を知ってもらう。 ④ 過去の大災害を教訓とし、風化させず未来へ伝承していく。 ⑤ 防災メールや市の公式LINEの登録者数を増やす。
事業内容	・実際の体験や学びが提供できるよう、多種多様な防災に関連する企業や団体のブースを展示する。 ・避難所設置や寒さ、暗さなど実際の災害がイメージできる設えとする。 ・会場内で避難グッズを揃えられるような物販販売や試供品の提供をする。 ・周遊や楽しんでいただくことを目的にスタンプラリーやお宝探しを実施。
実施結果	・防災メール新規登録 166件(件) ※カウント期間 10.1～11.7の間で増えた件数 ・防災メール総登録件数 5,752件(R6.11.7現在) ・防災メール設定増加件数 680件(前年増加件数 345件) ※カウント期間 9.1～11.19の間で増えた件数 ・防災メール受信設定件数 6,355件(R6.11.19現在) ・市公式LINE登録件数 27,318件(R6.11.19現在)

実施内容

メイン会場

第2回目となった2024年はメイン会場を
屋内に変更、多彩なプログラムが展開されました。

2024年11月4日(月・振替休日)、苫小牧市総合体育館および出光カルチャーパーク内で開催された「備えるフェスタ 2024 in とまこまい」。

昨年の苫小牧市消防本部敷地から会場を移しての開催となり、雨の影響にもかかわらず多くの来場者で賑わいました。

メイン会場においては屋内開催となったことで天候に左右されず、広いスペースを活かし50ヶ所のブースで多彩なプログラムが展開されました。防災グッズや非常食の販売、災害時のデモンストレーションなど、幅広い年代が楽しめる内容が充実。

また、胆振東部地震の実際の被害を記録した写真展示では、多くの参加者が足を止め、被害の深刻さと防災の重要性に思いを巡らせている姿が印象的でした。

入り口前広場には16ものキッチンカーが連なり、来場者に温かい食事や飲み物で楽しませてくれました。

各ブースを回ると景品がもらえるスタンプラリーも盛況で、家族連れや子どもたちが楽しみながら防災について学んでいたほか、実践的な防災スキルを学ぶ参加者の姿も目立ちました。



文化公園会場 (多目的広場)

乗車や救護の体験を通じて、さまざまな
仕事の体験を学べる体験型ブースを開催しました。



文化公園会場(多目的広場)には、乗車体験をメインに数多くの体験型ブースが設けられました。

高所作業車や消防車の乗車体験、障がい者向けのトイレカー展示、救護体験、自衛隊が設置した足湯など、家族連れを中心に賑わいました。家電製品への給電や漏水修理のデモンストレーション、また土嚢の体験などもでき、災害をより身近に感じられる機会となりました。

午前中はあいにくの雨となりましたが、徐々に天候が回復し、イベント後半にかけて多くの方が体験に列を作っていました。



体験ブース

実際の防災体験を通じて、多種多様な防災知識を楽しく身につけていただくことができました。



2つの練習室を利用した体験ブースでは、ユニークな防災体験プログラムの「あそび防災プロジェクト」を採用。

仮想避難所体験、防災ヒーロー入団試験やスモーキー迷路、防災リュック間違い探しなど、ゲーム感覚で防災知識を学べる企画が大人気でした。

プログラムを終了すると貰える認定証の発行も特徴的で、お子さんがその場で製作を行う体験もでき、ご家族で楽しみながら参加する姿が多く見られました。

大人・中学生ボランティア

家族ぐるみで楽しく学べる機会を提供。
また、世代を超えボランティアスタッフが活躍しました。

本イベントを支えたのは、地域のボランティアスタッフの協力です。苫小牧市ボランティアセンターに登録するボランティアの方々が、イベント前日に会場のシート敷き、景品用のお菓子詰め、防災ラジオへのシール貼りなどの準備作業を行い、円滑な運営に貢献しました。

また、当日は苫小牧市立明倫中学校ボランティア部から19名の生徒が参加し、防災メール登録の補助や会場内でのアンケート調査を担当。積極的に来場者とコミュニケーションを取りながら、大きな役割を果たしてくれました。地域住民と若い世代が一体となり、イベントを盛り上げる姿が印象的で、防災意識向上だけでなく地域の絆を深める素晴らしい一日となりました。

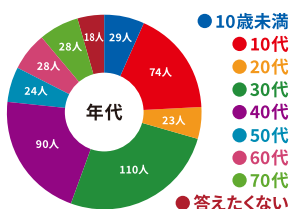


来場者アンケート

アンケート実施日：2024年11月4日（月・振替休日）※回答数424件

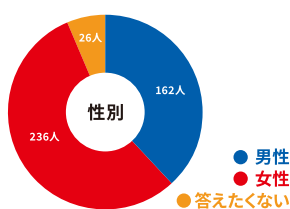
01

年代



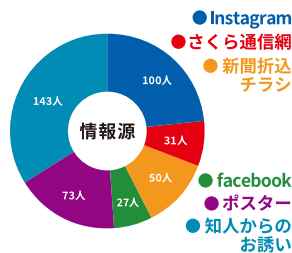
02

性別



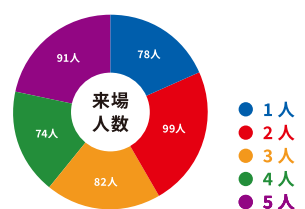
03

何を見て来場しましたか



04

来場人数



告知・PR活動

幅広い年代の方々に参加いただけるように
さまざまな媒体を使って広告・PR活動を実施しました。

イベントポスター掲示

市内各所に300枚のポスターを掲示しました。
地元の多くの方々にイベント詳細と魅力をお伝えしました。

新聞広告チラシの発行

高齢者層をターゲットに新聞広告を実施し、子供やそのご家族だけではなく、高齢者の方々にもご参加いただくことで、地域全体の防災意識の向上を目的としています。

SNS (Instagram) での発信

10月14日から11回に分けてイベント情報を発信し、内容をお届けしました。また、防災メール登録手順を動画でわかりやすく紹介することで、多くの方に興味を持っていただけるよう工夫しました。

■ イベントポスター



■ 新聞広告チラシ



■ Instagram



出展リスト・会場map

学ぶ
見る
体験
展示・販売

■ 総合体育館メイン会場

- | | | | |
|----|---|----|--|
| 1 | 一般社団法人北海道多文化共生NET
外国人に関する防災意識の啓発・関連商品の販売 | 37 | 宇多 春美・佐々木 香
被災地支援共同募金・防災ロープ・キーホルダー作り体験 |
| 2 | 苫小牧市未来創造戦略室
国際化推進事業（多文化共生） | 38 | 北海道立動物愛護センター
災害時におけるペット支援・防災イベント避難について |
| 3 | 苫小牧市上下水道部総務経営課
とまチョップ水販売 | 39 | 公益社団法人北海道理学療法士会日胆支部
避難時の逃げ方や冬の歩き方・体力測定（握力等） |
| 4 | 苫小牧市危機管理室
防災ハンドブックの紹介・備蓄品の展示等 | 40 | 認知症カフェ cocoro's
認知症と防災について考えるパネル展示 |
| 5 | 苫小牧市ゼロカーボン推進室
脱炭素関係 | 41 | 苫小牧手話の会
手話講座・聴覚障害についてパネル展示 |
| 6 | とまごまいコミュニティ放送（株）
地域コミュニティラジオPR | 42 | あじさいの会
自閉児童への理解・障がい児避難所について考えるパネル展示 |
| 7 | NHK札幌放送局
被災地VR体験等 | 43 | ライラのしっぽ 吉成しおり
災害支援動物危機管理士・動物支援ナース |
| 8 | 苫小牧市立病院DMAT（災害派遣医療チーム）
DMAT関係 | 44 | NPO法人だいきプロジェクト
災害時におけるペット支援・防災とペット避難について |
| 9 | 室蘭气象台
パネル展示 | 45 | 王子グループ
防災用品 |
| 10 | 北海道建設部住宅局建築指導課
耐震化に関するパネルと模型の展示 | 46 | 苫小牧市社会福祉協議会
被災地支援共同募金・こども緑日 |
| 11 | 矢崎産業北海道販売（株）
低圧LPガス発電機・専用ガス供給ボックス | 47 | 北海産業（株）
環境対策品・防災対策品の説明・PR |
| 12 | （株）宮城日化サービス
無動力雨水純水システム・放射式冷暖房システム実演 | 48 | KDDIまとめてオフィス東日本（株）
スタバなど災害用通信機器展示 |
| 13 | （株）ケーエス
防災に関する情報提供・保険相談他 | 49 | ノースアジャスト（株）（ダズキレントール苫小牧イベントセンター）
仮想避難所体験 |
| 14 | アイビーホーム（株）
制御装置ミライエPR | 50 | （株）IKUSA
防災リュック間違い探し・スモーク・迷路 |

■ 文化公園会場(多目的広場)

- A** 山本浄化興業(株)
災害対策車両の展示
 - B** 苦小牧市上下水道部下水道課
車両展示
 - C** 苦小牧市上下水道部水道課
車両展示
 - D** 苦小牧管工事業協同組合
排水管漏水修理デモ・水抜きモデル等の展示
 - E** 苦小牧市障がい福祉課
トイレカー(とまレット)展示
 - F** 陸上自衛隊第七師団第七十三戦車連隊
自衛隊車両等の展示
 - G** 北海道電力ネットワーク(株)
電気自動車展示・家電製品への給電デモ
 - H** 苦小牧市都市建設部道路維持課
除雪車展示・土嚢体験
 - I** トヨタカラー苦小牧
水素カー-MIRAI展示
 - J** 日本赤十字社北海道支部
車両展示及び子ども向け「救護員」体験
 - K** 北海道開発局 室蘭開発建設部
照明車・排水ポンプ車展示
 - L** 南北北海道三菱自動車販売(株)
電気自動車展示
 - M** ネットトヨタ苦小牧(株)
車両展示
 - N** (株)北海道モリタ
車両展示
 - O** 札幌方面苦小牧警察署
バiker展示・制服試着
 - P** (株)ナカジマ薬局
災害救護車の展示・見学
 - Q** (株)久慈重機
クレーン車の展示・運転席写真撮影
 - R** 苦小牧市消防署・消防団
車両展示
 - S** (株)電気工事西川組
高所作業車の展示・試乗会

■ キッチンカー

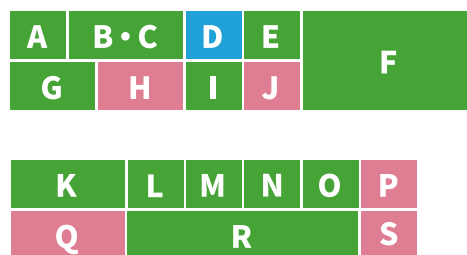
- | | | | |
|---|---|---|---|
| ① | eve
おもすび、汁物、小鉢 | ⑨ | Mogkitchen
ロングボudet、チュロス |
| ② | KITCHEN-CAMP
旨塩唐揚げ、鶏皮せんべい、砂肝、ヤゲン軟骨 | ⑩ | もなみキッチン
焼きそば、豚串、お好み焼き、フランク |
| ③ | 緑日屋
チーズパン、チョコバナナ | ⑪ | Kitchen O n e O n e
永遠の豆置・ポップコーン |
| ④ | foodkitchen Chame
キンパン・フライドボudet・トロボギ・韓国チキンなど | ⑫ | 丸勝
ロングボudet |
| ⑤ | LUCKY FOOD DERI
道産大粒ホタテ串、道産牛サリ串、道産とり串、など | ⑬ | 静内たこ焼き屋
たこ焼き |
| ⑥ | Crepeparla Jewel
クレープ、ドリンク | ⑭ | ノースオールコーポレーション
おでん、唐揚げ |
| ⑦ | FOOD432
ボークチーズサンド、贅沢餃子、揚げ餅、など | ⑮ | Kitchencar NEO
クワッフル、削りいちご、うどん、ドリンク |
| ⑧ | 鳥市kitchen
焼鳥、ドリンク | ⑯ | しるしる
じゃがチュロス、ほっごりスープ |

総合体育館
メイン会場

屋内・屋外ブース



文化公園会場 (多目的広場) **屋外ブース**



Special Thanks

※順不同

後援

北海道開発局

北海道胆振総合振興局

協力

一般社団法人苫小牧建設協会
陸上自衛隊第7施設大隊

北海道コカ・コーラボトリング株式会社
セコム株式会社苫小牧支社

陸上自衛隊第73戦車連隊
都市総合開発株式会社

ご支援いただいた皆様

山本浄化興業株式会社

有限会社リースキン三共

玉川塗装株式会社

株式会社小金澤組

株式会社ケイホク

緑豊建設株式会社

文化シャッター株式会社苫小牧営業所

フルテック株式会社苫小牧営業所

有限会社本田建築事務所

一般財団法人ハスカッププラザ

Re:Happy+Utsuwa

有限会社味の大王

ポップアラヤ

株式会社コルタントデジタルビズ

北海道アルミ建材工業株式会社

株式会社ほしの

苫小牧医師会

有限会社内城電気工事

有限会社繁泉産業

谷岡緑化株式会社

梨木工業有限会社

道南建硝株式会社

有限会社中川アルミ工業

株式会社クワザワ苫小牧支店

定蛇社会保険労務士事務所

ひまわり印刷株式会社

株式会社キーコネクト

ウォーターズグループ株式会社

トータルリペア MTEX

環境クリエイト株式会社

道路建設株式会社

有限会社フミオ建装工業

株式会社電気工事西川組

株式会社北海道サニックス環境

北澤建設工業株式会社

下川原アルミ工業株式会社

ナブコシステム株式会社苫小牧支店

丸彦渡辺建設株式会社苫小牧支店

三和シャッター工業株式会社苫小牧営業所

有限会社エクセル

小柳電機商事株式会社

有限会社佐藤燃料店

株式会社セルオート

山本電機サービス株式会社

運営

山本 紘之

千寺丸 洋

佐藤 章一

吉川 昌志

宮澤 圭輔

高野 優希

鈴木 奈津美

矢部 隆明

加藤 康子

林 雅彦

金澤 翔

山本 祐也

中村 誠

佐藤 杏花音

佐藤 嘉彦

中江 友紀

北澤 真弓

荒谷 幸久

荒井 智子

伴 謙斗

菊池 正人

小柳 要

藤田 慎

門別 昌尚

長山 恵

伴 宏美

事業決算書

備えるフェスタ2024 in とまこまい

収入の部

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
道交付金	2,600,000	
開催補助金	1,000,000	
協賛金	300,000	
出展料	1,250,000	
自己資金	198,507	
合 計	5,348,507	

支出の部

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
会場費	625,680	テント代
設営費	90,970	会場養生シート代
警備費	152,862	会場、駐車場警備委託
看板代	246,290	看板製作費
電気工事費	418,000	会場電気工事費
広告宣伝費	766,546	ポスター・CM広告費
イベント経費	2,398,845	ノベルティ代・景品代
委託費	495,000	イベント委託費
消耗品費	99,314	運営消耗品
事務経費	55,000	事務委託費
合 計	5,348,507	

令和7年2月21日

一般社団法人苫小牧タウンマネジメント

代表理事 藤 淳一

令和 7 年 3 月 吉日

出展団体
協賛企業 各位

苫小牧市長 金澤 俊
(市民生活部危機管理室担当)
一般社団法人苫小牧タウンマネジメント
代表理事 藤 淳 一

備えるフェスタ 2024in とまこまいに係る協力について（お礼）

春分の候、貴職におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

昨年 11 月 4 日に実施した「備えるフェスタ 2024in とまこまい」につきまして、大変お忙しい中御協力いただき、誠にありがとうございました。

当日は、悪天候にもかかわらず、約 4,000 人の方々にご来場いただきました。

本事業については、「一人ひとりの備えの強化」と「日常的なつながりの大切さ」をコンセプトに据え、啓発・体験ブースの出展や緊急車両等の展示などを実施し、参加者に対して災害に備えることの大切さを呼びかけることができたものと考えております。

大変遅くなりましたが、本事業の実施報告書が完成いたしましたのでお送りさせていただきます。参加団体の皆様や御協賛をいただいた企業・団体様の御協力により実施できましたことを遅ればせながらお礼申し上げます。

次年度につきましても、総合体育館において開催予定でございますので、引き続き御協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

略儀ながら書中をもってお礼の御挨拶を申し上げます。

苫小牧市市民生活部危機管理室 T e l : 0144 (32) 6280 一般社団法人苫小牧タウンマネジメント T e l : 0144 (37) 2585
--

様式第 11 号（第 14 条関係）

補助金交付金額確定通知書

苫危機第 1552 号

苫小牧市汐見町 1-1-12-2F
一般社団法人苫小牧タウンマネジメント
代表理事 藤 淳一 様

令和 7 年 1 月 1 4 日付けで実績報告のあった補助事業については、下記のとおり補助金の額を確定しましたので、下記のとおり通知します。

記

1	補助金の交付決定額	 1, 0 0 0, 0 0 0 円
2	補助事業の経費精算額	 5, 3 4 8, 5 0 7 円
3	補助事業の交付確定額	 1, 0 0 0, 0 0 0 円